

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	鳥田町地区	担当班	議員名	担当
参加人数	14人（男性13人 女性1人）		坂下 春則	司会進行
開催日	平成29年 7月18日（火）		蔵本 茂弘	活動報告
開催時間	午後7時～午後8時00分		原 勝信	記録・報告書作成
会場	鳥田町体育館		時任 隆一	音響
その他			吉藤 洋子	受付
		2班		

◎班代表者 蔵本 茂弘

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「地域交通について」・「空き家活用について」		
【意見交換の概要】			
「地域交通について」			
□コミュニティバスは、堂屋敷方面へ運行されていない。送迎に支障も出ている。早急に考えてほしい。			
■小林市内には、コミュニティバスが運行されていない地域もある。総合的な見直しを行っており、議会でも議論を深め、地域の意見を伝えていく。			
「空き家活用について」			
□空き家バンク登録は個人でもできるのか。情報が不十分な面もあり分からないことも多いが。			
■窓口である地方創生課に所有者が申し込むようになっている。市報や回覧板でも何度も空き家の情報は提供され、改修事業を含めPRされている。			

自由意見の交換	※□市民の意見	■議員の意見
□舗装道路の件で、ダム工事後周辺だけはきれいになったが、夏木～九々瀬線や中河間～多良木線、そして国道265号線の路線はツギハギだらけの道路である。少しずつでも舗装してほしいが。 ■すでに当局に伝えている。所管委員会でも実際に現場を見て対応したい。 □葦が原因で、大雨が降れば心配なところが3カ所ほどある。氾濫して災害が起こることも想定されることから、ぜひ県への要望も頼みたい。 ■道路と合わせて、所管委員会でも実際に現場を見て対応したい。 □小児科の問題で、夜間や救急など実際に市民は苦勞している。市長も本腰を入れるといわれるが、切実な問題であり早急に解決してほしいが。		

■県は小児科と周産期医療は都城市に集約する考えである。今回の産科の事で県知事も真剣に向き合うようになり、小林市・えびの市・高原町・で力を合わせて、西諸でまとまってやろうとなってきた。

□「地域医療を考える会」があるが、議員をなかなか見かけない。市立病院事業管理者も現況を分かりやすく取り上げて説明されている。一番身近な意見の言える議員にも参加してほしいが。

■会員の議員もあり色々と案内や資料はいただいている。参加できるよう、他の議員にも積極的に呼びかけたい。

◎小林市立病院での産婦人科（分娩）再開について

意見交換会では、小児科・産婦人科の充実を求める意見が各地区で出されました。その後、西諸出身の医師を中心とし、宮大医学部産婦人科の支援のもと、平成30年7月から小林市立病院での産婦人科（分娩）を再開する運びとなりました。また、9月定例会では、妊婦等に対し通院にかかる交通費として妊娠1回につき2万円交付する予算が可決されました。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

特になし